

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場会社名 SEホールディングス・アンド・インキュベーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9478 URL http://www.sehi.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 速水 浩二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部 部長 (氏名) 松村 真一 (TEL) 03-5362-3700
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,473	3.7	8	△80.7	△31	—	△53	—
25年3月期第2四半期	3,349	△2.9	43	△0.9	1	—	△408	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △83百万円(—%) 25年3月期第2四半期 △478百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△3.37	—
25年3月期第2四半期	△25.70	—

(注) 当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。このため1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,137	3,449	33.6
25年3月期	9,371	3,565	34.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,073百万円 25年3月期 3,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	1.6	180	178.5	140	—	70	—	4.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	18,636,800株	25年3月期	18,636,800株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,641,700株	25年3月期	2,641,700株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	15,995,100株	25年3月期2Q	15,889,637株

(注) 当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。前連結会計年度の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 3
4. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新たな経済政策や金融政策への期待から円安・株高傾向となり、輸出関連企業を中心とした業績好転や個人消費の底堅い推移などにより、景気が緩やかに回復してきております。一方、海外においては米国の量的緩和の縮小・解除観測やそれに伴う新興国経済の減速懸念など国内景気にとっては下振れ要因となる状況が依然として続いております。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高3,473百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益8百万円(前年同期比80.7%減)、経常損失31百万円(前年同期は経常利益1百万円)、四半期純損失53百万円(前年同期比354百万円改善)となりました。

セグメント別の業績については以下の通りです。

出版事業におきましては、オンライン経由での書籍販売や電子書籍販売が引き続き好調で、広告・イベント収入が回復してきたものの、出版市場全体における書店販売の不振の影響を受け書籍販売不振が継続したことなどにより、売上高は1,148百万円(前年同期比6.5%減)、セグメント利益(営業利益)は81百万円(前年同期比39.4%減)となりました。

コーポレートサービス事業におきましては、前期に引続き外資系クライアントからの引き合いが総じて底堅く推移した結果、売上高は408百万円(前年同期比5.0%増)、セグメント利益(営業利益)は55百万円(前年同期比4.6%増)と増収増益になりました。

ソフトウェア・ネットワーク事業におきましては、事業環境を勘案してスマートフォンコンテンツ・メディア事業立ち上げのための第1四半期連結会計期間における先行投資額の積み増しなどの成果により売上高は621百万円(前年同期比21.2%増)と大幅増収となりました。利益面では、当第2四半期連結会計期間半ばよりスマートフォンコンテンツ事業の投資回収を本格的に開始した結果、セグメント損失(営業損失)は57百万円(前年同期比49百万円損失増加)ながら、当第2四半期連結会計期間では黒字となりました。

インターネットカフェ事業におきましては、前期に実施した抜本的なリストラ策(不採算店舗の閉鎖・譲渡、管理部門経費圧縮)の効果が継続しており、売上高は643百万円(前年同期比14.4%減)、セグメント利益(営業利益)は30百万円(前年同期はセグメント損失28百万円)と好調に推移いたしました。

教育・人材事業におきましては、クラウドサービス売上、IT・医療人材紹介事業及び研修事業が引き続き好調に推移し、売上高は510百万円(前年同期比15.9%増)、セグメント利益(営業利益)は5百万円(前年同期比151.9%増)と増収増益になりました。

その他の事業(注)におきましては、売上高は140百万円(前年同期比413.9%増)、セグメント利益(営業利益)は19百万円(前年同期比45.2%増)となりました。

(注) 当第2四半期連結累計期間及び前第2四半期連結累計期間における「その他の事業」には、有価証券投資事業の業績を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、仕掛品105百万円増加、有形固定資産その他58百万円増加、受取手形及び売掛金287百万円減少並びに現金及び預金124百万円減少を主因に、前連結会計年度末比233百万円減の9,137百万円となりました。負債については、有利子負債86百万円減少及びその他流動負債42百万円減少を主因に、前連結会計年度末比117百万円減の5,688百万円となりました。純資産については、利益剰余金74百万円増加、資本剰余金160百万円減少及びその他有価証券評価差額金33百万円減少を主因に、前連結会計年度末比116百万円減の3,449百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、2,409百万円と前連結会計年度末比124百万円の減少（前年同期は44百万円の増加）となりました。

営業活動の結果得られた資金は125百万円（前年同期比63.0%減）となりました。収入の主な内訳は売上債権の減少287百万円であり、支出の主な内訳はたな卸資産の増加144百万円であります。

投資活動の結果使用した資金は118百万円（前年同期比14.1%増）となりました。収入の主な内訳は投資有価証券の売却による収入13百万円であり、支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出103百万円及び投資有価証券の取得による支出28百万円であります。

財務活動の結果使用した資金は133百万円（前年同期比29.7%減）となりました。収入の主な内訳は長期借入れによる収入420百万円及び社債の発行による収入239百万円であり、支出の主な内訳は社債の償還による支出477百万円及び長期借入金の返済による支出352百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想は、平成25年10月24日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,701	2,577
受取手形及び売掛金	1,646	1,359
有価証券	20	20
営業投資有価証券	597	617
商品及び製品	1,021	1,058
仕掛品	103	208
原材料及び貯蔵品	14	16
繰延税金資産	81	63
その他	110	104
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	6,295	6,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,583	1,625
減価償却累計額	△744	△780
建物及び構築物(純額)	839	845
土地	1,089	1,089
その他	869	931
減価償却累計額	△801	△805
その他(純額)	67	125
有形固定資産合計	1,997	2,061
無形固定資産		
のれん	15	12
その他	46	41
無形固定資産合計	62	54
投資その他の資産		
投資有価証券	292	250
敷金及び保証金	429	420
繰延税金資産	154	188
その他	146	143
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	1,015	995
固定資産合計	3,075	3,110
資産合計	9,371	9,137

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	413	439
1年内償還予定の社債	754	869
短期借入金	1,066	953
未払法人税等	24	22
賞与引当金	39	31
返品調整引当金	151	117
その他	490	447
流動負債合計	2,940	2,882
固定負債		
社債	1,823	1,481
長期借入金	667	921
退職給付引当金	221	234
役員退職慰労引当金	73	73
資産除去債務	30	30
再評価に係る繰延税金負債	8	8
その他	40	56
固定負債合計	2,864	2,805
負債合計	5,805	5,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,406	1,406
資本剰余金	1,886	1,725
利益剰余金	371	445
自己株式	△613	△613
株主資本合計	3,051	2,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126	93
土地再評価差額金	15	15
その他の包括利益累計額合計	141	108
新株予約権	5	5
少数株主持分	367	370
純資産合計	3,565	3,449
負債純資産合計	9,371	9,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,349	3,473
売上原価	2,234	2,242
売上総利益	1,115	1,230
返品調整引当金戻入額	29	34
差引売上総利益	1,144	1,265
販売費及び一般管理費	1,101	1,257
営業利益	43	8
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	0	0
投資有価証券売却益	0	8
負ののれん償却額	0	0
持分法による投資利益	3	—
その他	6	5
営業外収益合計	11	17
営業外費用		
支払利息	27	25
社債発行費	11	10
支払保証料	10	10
その他	3	9
営業外費用合計	53	56
経常利益又は経常損失(△)	1	△31
特別利益		
固定資産売却益	0	0
保険差益	8	—
新株予約権戻入益	1	0
特別利益合計	9	1
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	2	0
店舗撤退損失	234	—
のれん償却額	165	—
プロジェクト整理損失	48	—
特別損失合計	452	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△440	△30
法人税、住民税及び事業税	16	13
法人税等調整額	12	6
法人税等合計	28	20
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△469	△50
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△61	3
四半期純損失(△)	△408	△53

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△469	△50
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	△33
その他の包括利益合計	△9	△33
四半期包括利益	△478	△83
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△417	△86
少数株主に係る四半期包括利益	△61	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△440	△30
減価償却費	96	68
長期前払費用償却額	10	7
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損益(△は益)	—	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	2	0
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△8
のれん償却額	183	3
負ののれん償却額	△0	△0
社債発行費	11	10
保険差益	△8	—
新株予約権戻入益	△1	△0
店舗撤退損失	234	—
プロジェクト整理損失	48	—
持分法による投資損益(△は益)	△3	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9	13
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	△7
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△29	△34
受取利息及び受取配当金	△0	△2
支払利息	27	25
為替差損益(△は益)	△0	1
売上債権の増減額(△は増加)	396	287
たな卸資産の増減額(△は増加)	△167	△144
仕入債務の増減額(△は減少)	8	26
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△28	△6
未払消費税等の増減額(△は減少)	△18	△3
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	7
その他	13	△57
小計	344	153
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△28	△26
法人税等の支払額	△15	△15
法人税等の還付額	23	12
保険金の受取額	15	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	339	125

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20	△0
有形固定資産の取得による支出	△67	△103
有形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	—	△28
投資有価証券の売却による収入	0	13
無形固定資産の取得による支出	△5	△9
貸付けによる支出	△5	—
長期前払費用の取得による支出	△8	△1
敷金及び保証金の差入による支出	△9	△0
敷金及び保証金の回収による収入	11	9
預り保証金の受入による収入	—	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△103	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8	70
長期借入れによる収入	270	420
長期借入金の返済による支出	△304	△352
社債の発行による収入	368	239
社債の償還による支出	△512	△477
リース債務の返済による支出	△1	△1
新株予約権行使による収入	12	—
配当金の支払額	△31	△31
少数株主への配当金の支払額	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189	△133
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	44	△124
現金及び現金同等物の期首残高	2,740	2,533
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,785	2,409

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネット ワーク	インター ネット カフェ	教育・ 人材	計				
売上高										
(1) 外部顧客に対する売上高	1,227	388	513	751	440	3,322	27	3,349	—	3,349
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	18	0	54	—	5	79	—	79	△79	—
計	1,246	389	567	751	446	3,401	27	3,429	△79	3,349
セグメント利益又はセグメント損失(△)	134	52	△8	△28	2	153	13	166	△123	43

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、有価証券投資事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△123百万円には、セグメント間の内部取引又は振替高消去22百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△145百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

① 「インターネットカフェ」セグメントにおいて、複数の不採算店舗を閉鎖・譲渡予定であることから、当第2四半期連結会計期間において当該店舗固定資産について減損損失を特別損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては159百万円でありませぬ。

② 「ソフトウェア・ネットワーク」セグメントにおいて、不採算事業(LED(発光ダイオード)事業会社LuxTek社への投資)の整理の一環として、当第2四半期連結会計期間において建設仮勘定の減損損失を特別損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては13百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「インターネットカフェ」セグメントにおいて、複数の不採算店舗を閉鎖・譲渡予定であることから、当第2四半期連結会計期間において店舗撤退損失(上記減損損失159百万円を含む。)234百万円を特別損失として計上した結果、同事業を営む連結子会社に対するのれんの効果が消滅したため、のれん償却を特別損失として計上しております。なお、当該のれん償却計上額は、当第2四半期連結累計期間においては165百万円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による、当第2四半期連結累計期間の各セグメント利益に及ぼす影響額は軽微であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネット ワーク	インター ネット カフェ	教育・ 人材	計				
売上高										
(1)外部顧客に対する売上高	1,148	408	621	643	510	3,332	140	3,473	—	3,473
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	25	0	47	—	8	81	—	81	△81	—
計	1,173	408	668	643	519	3,413	140	3,554	△81	3,473
セグメント利益又はセグメント損失(△)	81	55	△57	30	5	114	19	134	△125	8

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、有価証券投資事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△125百万円には、セグメント間の内部取引消去21百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△147百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。